

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くるべ



見えないところで、
支えられている。

特集 「デジタルの力で働きやすい環境づくり」

2022
09
September

スマイルワーカー 村上勇樹さんのお話

子育てすくすくネットワークの会

生地あいの会

〔編集・発行〕 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和4年9月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

2022
9

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

★初参加随時受付中

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 体力測定 体操	2 体力測定 体操	3
4	5	6 体力測定 体操	7	8 健康体操A	9 フレイル 予防講座	10
11	12	13 自力整体	14 健康体操A	15	16 自力整体	17
18	19	20 健康体操A	21 脳トレ	22 自力整体	23 秋分の日	24
25	26	27 体操	28 自力整体	29 体操	30 健康体操A	10/1
2	3	4 フレイル 予防講座	5 体操	6 ヒートショックについて くすりの話	7	8

- 健康体操A
樋口 瞬 先生
 - 自力整体
稲田 清美 先生
 - 脳トレ
くろべ脳トレクラブ
 - フレイル予防講座
明治安田生命
 - ヒートショックについて
くすりの話
杏掛 真彦 先生
 - 体力測定/体操
小森亜希子 先生
- は休館日
時間/10:00~11:00
対象/65歳以上の方
参加費/300円(入館料のみ)

★令和4年4月より、生き生き倶楽部の予定は広報くるべにて掲載しております。

消防の
豆
知識

携帯電話からの 119番通報

最近では、GPS機能付きの携帯電話による通報も場所の特定がしやすくなりました。しかし、山間地などでは場所の特定に時間がかかることもあるので、場所、氏名、電話番号をしっかりと伝えましょう。近くに一般電話があれば、その方が早く場所がわかって現場に到着します。

市町村の境界線だと隣の消防本部にかかることもあります。電話が転送されるので切らずに待ちましょう。



今月の表紙

お兄ちゃんの岳(たける)くんが遊んでいるのを見て、自分もチャレンジしたくなった杏凜(あんり)ちゃん。ちょっぴり怖さも感じるけど、お兄ちゃんが手を伸ばして助けてくれるから、大きな遊具でもっと遊びたくなりました。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

<http://www.kurobesw.com/>



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市ふれあい福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこっと情報 [黒部市の人口] 40,262人 [65歳以上の人口] 12,935人 高齢化率 32.1% R4.7.31 現在

デジタルの力で 働きやすい環境づくり

精神障がい者、知的障がい者、発達障がい者の方々が社会で働くための支援をしている、社会福祉法人せせらぎ会「せせらぎハウス黒部」(以下、せせらぎという)。障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として、企業の建材部品の組み立てや検査、施設外就労として野菜の選別や箱詰め、サイダーのラベル貼り、電鉄石田駅前のトイレ清掃などを行っています。今回は4月に新しい建物となり、利用者も職員も働きやすい環境づくりに取り組むせせらぎを紹介します。

手書きの負担を減らしたい

せせらぎでは、これまで利用者に関する日々の記録を手書きで作成していました。サービス管理責任者の川田多紀子(かわた たきこ)さんは、「利用者さん方と一緒に作業している職業指導員が一生懸命書いてくれた記録を私たちが転記していたんです。時には転記間違いもありますし、他の業務にも時間を割きたかったので、記録を1回で済ませられないかと思っていました」と話します。また、施設長代理の脇坂千絵(わきさかちえ)さんは、「福祉業界では日々の記録が必要で、段々受注する仕事が増えてきたら部品の品番も増えてきて、私たちも覚えるのが大変になってきたんです。写真に撮ったり略称でやってみたりしましたが、記録に残していくのはすごく大変で労力のあることでした」と話します。そこで、職員の負担軽減と業務の効率化に向けて富山県の障害福祉分野のICT活用モデル事業を受け、システム開発に詳しい一般社団法人シビックテックラボと市社会福祉協議会と一緒に1年かけて独自システムを開発しました。

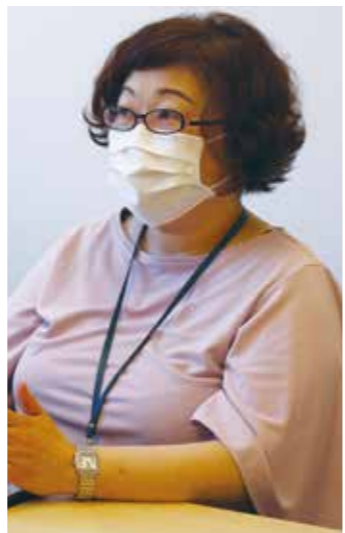
質の向上につながる

ホワイトボードに書いて利用者に表示していた作業内容や進捗状況は、システムによってモニ



川田さん

ター画面に映し出され記録としても残るようになりました。職業指導員の中田千華(なかた ちか)さんは、「最初は正直ちょっと難しそうだし、タブレットに慣れていないから大丈夫かなって不安の方が大きかったのと、結構スケールが大きい話だなと思っていました。実際に導入されてからは、1日4コマある作業がシステムに記録されているので、前のコマでどんな作業をしていたか一覧で見ることができ振り返りやすくなりました。それに、前のコマのスタッフのときにどんな様子だったかを共有しやすくなったと思います。実際に毎日通っておられる利用者の方も『今のモニター画面はわかりやすいです』と言っておられたので、慣れてくれればもっと便利になるのかなと思います」と話します。また、記録作成にも大きな変化がありました。タブレット端末で記録を打ち込めるようになったので、職業指導員が一度入力すれば他の職員も見られるようになり、追記や修正も可能になりました。「今までは現場にいるスタッフから伝え聞いたことを記録に残していくことが多



脇坂さん

かったのですが、実際に関わっているスタッフの方がより具体的にわかりやすい記録を書くことができるのでいいと思います。また、現場のスタッフが書いた記録について後から尋ねると、またさらに詳しく聞かせてくれるので自分が記録を書くときの参考にもなります。利用者の方と面談するときには記録を読み返し、次に活かすことができます」と川田さん。

脇坂さんは、「いろいろな勤務時間で働く職員が全員同じ方向を向いて利用者の支援をしていくには記録を読まない限り、人柄や1日の流れを理解できません。だけど、みんな読み返す時間がなくて、私たちが書いた記録は書きっぱなしみたいなのがありました。それがシステムを入れたことで、少し空いた時間にその場で気になった利用者の記録を読むことができますね。気になったことはすぐに確認できるので職員の質の向上につながるし、それがサービスの質の向上や事業所としても向上していくことにつながっていくと思っています」と話します。

安全に、明るい気持ちで働けるように

新しい施設は、広く明るい作業スペースで、車庫から一直線で荷物を運べるようになり、作業室から倉庫の状況を職員も利用者も一目でわかるようになりました。

また、毎週金曜日は当番制で利用者と職員が昼食を作る日です。生活訓練として、利用者がメニューを決めて職員が付き添って材料を買いに行き、社会でお金を使うことを体験し、お金の流れを学ぶ機会になっています。これも就労支援の一環であり、施設外での様々な体験も大切にしています。「利用者さん方はそれぞれ得手不得手があるので、一人ひとりと毎月面談して達成できそうなことから段々と目標を上げていきます。その小さな積み重ねが自信につながって、さらにながらうという意欲に繋がっていますよね」と施設長の西村一秋（にしまらかずあき）さんは話します。



西村さん



モニター画面を確認しながら作業



シビクテックラボと運用状況の確認

効率化のその先

「一番良かったことは、作業分担ができたこと。常勤3人に業務が偏りすぎていたので負担を減らしてあげたいとずっと思っていました。どうしても決まった職員しかできないこともあるし、うまくいかないこともあるけれど、これからは業務をカバーし合える人員配置をしたいなと思っています」と西村さん。

デジタル化することで、作業効率は上がり、利用者にとってもわかりやすくなりました。その結果、職員の残業が減り、効率化によって生まれた時間と余裕を、利用者へのよりきめ細やかな支援に使うことができるようになりました。難しいと思っていたデジタル化やICTの活用は、今後、福祉分野を支える大きな力になると感じました。

利用者も職員も安全に作業ができ、明るい気持ちで過ごせる職場となるよう、これからも職員同士また、利用者や職員のコミュニケーションを重ねながらせせらぎの取り組みは続きます。

社会福祉法人せせらぎ会

せせらぎハウス黒部

住所：黒部市岡208

TEL：0765・52・4855



詳しくはこちら

実は黒部で、こんな事やっています!

Vol.22

地域を元気にする仕掛けで、みんなわくわく

生地を賑やかに、また地域に貢献したいと思う仲間が集まり、現在は約30名が在籍している「生地あいの会」。

初天神祭や生地小学校の児童と共に行うくろべ名水公園清掃、生地地区の成人式への協力を中心に活動しています。これまでも休み処や町中コンサートを開催したり、生地村絵地図の展示や防波堤の壁画作成を児童と一緒に、子どもたちや地域の人たちとの交流の中で生地の歴史と豊富な水資源の大切さを知ってもらい、生地の魅力を再確認してもらうことを大切にしています。

また、生地あいの会と言えば、水だんご。昔から伝承された作り方で催し時に提供されるその味は大変好評です。



水だんごづくりの様子



生地あいの会

活動場所：黒部市コミュニティセンター

活動日：随時

問合せ先：黒部市コミュニティセンター TEL.(0765)57-1011


子育てすくすくネットワークの会

—秋祭りだよ!みんなで遊ぼう!—

入場無料

令和4年10月1日(土)10:00~12:00(受付11:30まで)

黒部市国際文化センターコラーレ マルチホール

受付開始	①10:00~(生地・石田・大布施・田家・東布施・村椿地区) ②10:45~(荻生・前沢・三日市・若栗・宇奈月地区)
対象	未就学児とご家族
申込み方法	右記のQRコードより 事前にお申込みください。 
申込・お問合せ	黒部市民生委員児童委員協議会 TEL.(0765)54-1082

内容

わなげ、魚釣りゲーム、つかみ取りゲーム、ストライクボウリング、スカットボール、輪づくりゲット、お菓子作り、あめすくいなど。

よみきかせコーナーもあります。



黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮になっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

9月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)
祝日の翌日のため24日は休館日です。

10月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日
(3日・10日・17日・24日・31日)

催し物と休館日のご案内

今月のクラブ

ポールウォーキング

金曜日(9日・30日) 13:30~15:00
場所:石田交流プラザ(現地集合)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に寄付をいただきました
ありがとうございました

黒部市芸術文化協会 様



今月の相談日

弁護士と法律相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
9月20日(火) 13:30~15:30 / 予約受付9月1日より※先着4名
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

■黒部市福祉センター(金屋464-1)
9月12日(月) 10:00~11:30 / 予約受付9月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

Q. お仕事への思いを教えてください。

利用者の方々はエネルギーで、みなさん夢や目標を持っておられるので、一つでも実現できるようにサポートしたいと思っています。作業療法士は、ご本人の体と生活を見ることが仕事です。痛みを取り除いたり、筋力をつける運動に加え、生活場면을想定した動作練習や体の状態に応じた生活環境をつくるお手伝いをしています。

今後は、地域の様々な資源とつながって地元を盛り上げていきたいです。福祉以外の分野とも連携して、高齢者の方々に元気に、そして人々の人生を豊かにしていきたいです。

現在トライアスロンの大会に向けて、自転車で入善店と黒部店を移動しているので見かけたら手を振ってください。

スマイル ワーカー



村上勇樹さん
(むらかみ ゆうき)



長寿メディカル株式会社
地域密着型通所介護
CHACHACHA(ちゃちゃちゃ)



趣味

身体を動かすこと

お知らせ

マイナンバーカード申請しませんか?

市役所職員が黒部市福祉センターへ出向き、写真撮影から申請まで一括で受け付けます。マイナンバーカードは、本人限定受取郵便でお受け取りできます。

日時 令和4年9月27日(火)
11:00~12:00

場所 黒部市福祉センター 研修室

申込方法 福祉センターまたは市役所市民環境課へ
直接または電話申込

申込期限 令和4年9月20日(火)まで

申込・お問合せ 黒部市福祉センター (0765)54-1082
黒部市役所 市民環境課 (0765)54-2680

申請に必要なもの

- 1 通知カード
- 2 本人確認書類2点
・顔写真付き身分証明書+顔写真のない身分証明書1点
・顔写真のない身分証明書2点(①がある方のみ)
- 3 住民基本台帳カード(該当者のみ)
※必要書類が足りない方は、市役所窓口でカードの受け取りとなります。

